

令和3年3月3日

本高図書委員会だより

2年担当

第05号

今号は2年図書委員2名+生徒4名+先生2名

流浪の月

2年図書委員Aさんおすすめ

様々な事情を抱え、生きづらさを抱えた少女は、居場所がないと感じていた帰り道、一人の男性に声をかけられついていく。自分の自由を尊重してくれる男性との暮らしは少女にとってかけがえのないものになっていた。

そんな生活も男性が誘拐事件の犯人として逮捕されたことで終わりを迎える。時を経て再び出会った二人の運命は周囲を巻き込み変化していく。善意とは何か考えさせられる作品。

2020年本屋大賞受賞作。

東京ディズニーリゾート キャストの仕事

2年図書委員Sさんおすすめ

私達に夢と魔法を与えてくれる東京ディズニーリゾート。行くと現実世界を忘れてしまうほど夢の国の魔法に包まれてしまいますよね^^

私達がそう思えるのは全て東京ディズニーリゾートで働くキャストさんのおかげです。あの広大な敷地面積を歩き回り、何万人ものゲストを案内してくれるディズニーキャストさん。どのような職種で、どんな仕事をしているのか、なぜ働いているキャスト自身が楽しそうなのか、興味がわいてきませんか？

この本を読めばディズニーが何年も多くの人に愛され続けている理由が分かります。ぜひ読んでみてください！

その手をにぎりたいたい 2年Hさんのイチオシ

仕事を辞め実家へ帰るつもりだったOL青子が、寿司職人の“手”から受け取る銀座の高級鮨店「すし静」の味とその板前ノ瀬に惚れ込み、辞職を辞め「すし静」に通うためにバリキャリアとしてバブル期を全力で駆け抜ける「食×仕事×恋愛」物語。

とにかく食べ物の美味しそうな表現に惹き込まれる作品で、読み終わった後は必ず寿司が食べたくなります！（笑）。バブル期真っ只中～終わりのどこか空虚に思える雰囲気と人間味あふれる主人公の食への情熱がすごく伝わる、何度も読み返したくなるような作品です！

私たちはどう働くべきか

2年Sさんからメッセージ

「プレミアムフライデー！月末の金曜日は残業せずに15時には帰りましょう！」なつかしですね～私は、この本を読んで久しぶりに思い出しました！皆さんはおぼえていましたか？このようにこの本では、今まで日本がやった政策や働きすぎ問題、外国人労働者について、なかなか日頃のニュースでは多くは語られないことを池上彰さんが詳しく解説してくれる本です。

私はこの本を読んで、日本と海外との働き方や育児の考え方の違いや今の日本が抱えている問題など様々なことを知ることが出来ました。現在、AIの発展やコロナウイルス感染拡大によって、日本の働き方が大きく変わっていく中不安を抱えている人もいます。来年度が近づくとつれて自分の将来を考え始めた人は、ぜひ読んでみてください！新たな発見が多く、今後の進路について調べるときに役に立つ情報が得られると思います！

Aのつぶやき 学年終わっちゃうね

Sのつぶやき ディズニーとユニバみんなはどっち派！？

今号も裏面を読んでね！↘

今号裏面も多彩な紙面だよ！ 洋書多め

オーストラリア特集！！！！

旧職員、ALT *Joanne* の著作です！



I wrote **The Flying Optometrist** about my father. I thought his story was inspiring because he helps many other people, and I wanted to share this story with the world. It is also exciting, and about a part of Australia many people don't know. 注) 絵本は本庄高校にあります！！

中里先生から”内なる町から来た話”

いつかどこかで見たような、でも、たしかに行ったことのないどこでもないどこか。ショーン・タンの描く不思議な世界は、あなたを特別な場所に連れ出してくれます。きっとそこへの扉は日常の中にかくれていて、冒険心を忘れないあなたの前にだけ現れます。

自分が帰属するすべてから離れて、少しだけ扉の向こうを覗いてみませんか。その束の間の旅を終えた時、あなたの瞳に映る世界は、冬の良く晴れた朝のような、澄み切っていて少し切なく、爽やかな輝きを増すことでしょう。

注) 著者のショーン・タンは、オーストラリア在住、ジョアン先生の知り合いです！！
中里先生は横浜での「ショーン・タン展」を観にいかれたそうです。

少年と犬

3年Sさんおすすめ！！ 馳星周著

一匹の野良犬の旅を、旅の途中で出会う様々な事情を抱えた人々の視点から描いた物語。一男と犬、一泥棒と犬、一夫婦と犬、一娼婦と犬、一老人と犬、一少年と犬。犬は人間の気持ちを読み取るのが上手い。傷つき、悲しみ、迷う人々にそっと寄り添う。言葉を交わすことができなくても、いつの間にか心と心が結ばれる。犬は不思議な力を秘めている。この本を通して犬への愛情だけでなく、尊敬の気持ちを感じる人も多いだろう。家で過ごす時間が増えてストレスを感じている人、今、心が窮屈に感じている人、ぜひ読んでほしい。

生徒と保護者でコラボ！

ミッフィー 英語版

2年Kさんオススメ！！

私が紹介する本は、ディック・ブルーナ著の絵本「ミッフィー」の英語版シリーズです。

物語は短い英文なので理解しながら読むことができ、ページ数も少ないので5分程度で読み終われます。物語も毎ページのイラストもかわいく、読み終わった後は心があたたまります。私のオススメは「miffy in the snow」です。色々なシリーズがあるのでぜひ読んでみてほしいです。

保護者からメッセージ

miffyを生徒に薦めた理由を聞いてみました..

厚くてむずかしい英語の本よりも簡単に読むことができ英文にも触れられるよい機会だと思い薦めました。

ディック・ブルーナのミッフィーの登場人物はみな個性あふれる心やさしいキャラクターばかりです。丁寧に描かれているストーリーは私自身の日常も愛おしく感じさせてくれます。ぜひ読んでみてはいかがでしょうか。